

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	現在市との関わりは一方的なやりとりが多く、事業所の取り組みを伝え、協力関係を築けていない。	現土居の介護の実践、具体的状況を行政に伝え連携を深めて、市全体で協力関係を築きたい。	管理者が積極的に市へ出向き現場の介護の実践、具体的状況を伝え、市にも事業所が行う納涼祭などの行事への参加を促し協力関係を図りたい。	3ヶ月
2	6	現在利用者及びスタッフの目が見えない時間帯はベルトを着用している。	全職員が拘束をしないケアの重要性を理解し、ベルトの着用をなくしていきたい。	施設内研修やカンパリスも定期的に行い、拘束をしない介護の重要性を全職員が共有する。ベルト着用をなくしていく為に垂解体型も見直し常に職員が目が行き届く様にする。	3ヶ月
3	10	事業所独自の苦情処理委員会を設立しているが、ほとんど苦情は出されず、運営面への意見が返り来っていない。	利用者、家族等が広く運営面への意見、要望を提出し、その仕組みを作り取り入れたい。	事業所側から積極的に利用者、家族等へ直接聞き取りを行い、来訪出来ない家族には手紙や電話での意見を聞き取りたい。	3ヶ月
4	23	目的の思いを口頭で伝える利用者は少なく、その他の場合は口頭の言動、認知症状などから思いや意向を把握、支援出来ていない。	介護職員側の推察だけでなく利用者も自ら思いや意向の把握、支援していきたい。	利用者本人の生活史の把握、家族等からの聞き取りを行い、思いや意向を利用者の立場に立ち、考え、把握して支援していきたい。	3ヶ月
5		介護計画の見直しは月と長く、現状の変化に応じて、次の計画に反映して貰いたい。 介護記録が目標達成のためのツールとして意識した記述にしていきたい。	現状変化の都度利用者の日々の変化にも対応して計画変更も迅速に行いたい。 介護記録も介護計画と連動した内容の記述にしたい。	日々のモニタリングで利用者の現状をエフ・カンパリスで変化の都度利用者本人に分かりやすく介護計画を見直し、全職員が介護計画の内容を把握、意識して計画と連動したケア記録の統一、記録に計画の一部を反映する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。して記載する。

2015年 2月20日 10時19分 介護ケア(株)グループホームあおぞら 0277-20-7625 NO.1027 P.2